

誰もが 幸せに暮らせる 夜久野

夜久野自治会だより

第71号

令和7年
新春号



マラソン大会（小学生）

夜久野っ子
やさしく
強く
たくましく



にんじんの収穫（1～4年生）



ソーラン節（中学生）



幼児とのふれあい交流会（9年生）

おもな内容

新年のごあいさつ	2
やくの高原活性化検討会報告	3
秋の催し（フェスタ、農林商工祭）	2・3
みらいを創る集い	4・5
まちかどフォト	6
輝く夜久野の子どもたち	7
お正月を迎える準備	8
まごころ銀行（ふるさと基金）	8

新年のごあいさつ

夜久野町連合自治会長

衣川 良 永

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、能登半島地震が一月一日に起こるといった大変な年明けとなり、一年を通して各地で豪雨災害が起こるなど、災害については考えさせられる年であったかと思われまふ。

夜久野町におきましては、幸い大きな被害が出るようなこともなく、災害面では、穏やかに過ごせたのではないでしようか。全国的に被災された皆さまに対しましては、以前のような穏やかな生活に復興できますよう祈るばかりです。

連合自治会としましては、今年度、やくの高原活性化検討会への参加、河川除草事業の実施等に取り組んできました。これら課題等に向き合いながら進めてきていますが、まだ、結果に行き着いたという訳ではありません。本年も継続して、将来につながる活動を目指し、また「誰もが幸せに暮らせる夜久野」を心情にいただき、連合自治会が丸となって取り組みを進めて行きたいと考えています。

後になりましたが、夜久野町にお住まいの皆さまには、連合自治会等の活動、事業に対しまして、多大なご理解とご協力を賜っていますこと、厚く御礼申し上げます。本年も皆さまと一緒に夜久野町を盛り上げていければと思っていますので、どうかよろしくお願ひします。令和七年が素晴らしい一年になりますよう心より祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

賑わい・交流！秋の催し

♪♪月~/

ふれあいいきいきフェスタ

11月3日(日)、夜久野ふれあいプラザにて、「ふれあいいきいきフェスタ」が開催されました。館内では作品展示や健康や福祉の様々なコーナーや舞台発表が披露され、屋外では「夜久野のうまいもんコーナー」や「ホールインワンゲーム」、屋外演奏などで賑わい、楽しい会話が弾みました。



【トーク&コンサート】

手話パフォーマーの強力翔さんによるパワフルな歌声と、観客と一緒に手話で参加できる楽しいコンサートでした！



【作品展示】

館内には、園児・小中学生から高齢者まで、多くの作品が展示されました。写真は、日置自治会による出展で、珍しい稲わらを使ったお神輿。普段は日置の構造改善センターに飾ってありますが、フェスタで大勢の方に見ていただくことができました。



【屋外発表】

中庭芝生広場では、和太鼓演奏が披露されました。大人と子どもの和太鼓グループが、青空の下で力強く心躍る演奏を披露しました。

西垣内科医院 院長 西垣 哲哉

37-0127 (FAX共用) 夜久野町額田森嶋

訪問看護 ハートケア

TEL 0773-37-0033

シリーズ く夜久野高原の活性化を願って③

やくの高原活性化検討会 進捗状況

10月31日(木)に第2回の検討会が開催されました。

第1回検討会の後、福知山市はコンサルティング会社と委託契約を結びました。
委託内容は次の通り。

- ・検討会の支援
- ・夜久野高原全体の賑わいづくりや「農匠の郷やくの」を集客につながる施設として再構築するための民間事業者への活用ニーズ調査

第2回検討会では、コンサルティング会社が活用ニーズ調査をもとに作成した「活用プラン案」について、委員の皆さんにより質疑応答と意見交換が行われました。

「活用プラン案」「委員の意見」などは、11月に市役所夜久野支所から全戸配布された「やくの高原活性化検討会報告NO2」に詳しく書かれています。

第3回検討会は12月26日開催予定で、第2回検討会の意見をもとに作成した「活用プラン修正案」について協議されます。

「活用プラン(素案)」が決定した後には、住民への説明と意見聴取の機会を作られ、その意見をもとに再度検討会を持ち、プラン案を決定される予定です。



農林商工祭

11月17日(日)、農匠の郷やくのテニスコートを会場に、「第37回夜久野農林商工祭」が開催されました。

模擬店、農産物品評会と展示即売会、米の食味検査、農地農政相談などの他、会場を盛り上げる和太鼓演奏、ビンゴゲーム、ドキドキ卵ゲームなども企画され、のべ2000人の来場者で賑わいました。



地域社会の環境
と自然を守る!



株式会社クリア

京都府福知山市夜久野町額田51-1
TEL (0773)37-0304

みらいを創る集い

が開催されました。
まちづくり協議会、公民館、他) など、合わせて62人。
テーマで、3つの案を発表してくれました。
しながら、新しい発想を盛り込みながら深めていきました。
みながら意見交流をしました。

8年生の発表

「人口減少」「公共施設の減少」などの課題がある中で、「自然が豊か」「特産物が沢山ある」などの強みを活かして、

夜久野がより豊かな町になるためにはどうすればいいか

について、3つの視点から考えました。

- ①夜久野の自然を活かしたイベントを増やす
- ②お店や施設を増やして、町を賑やかにする
- ③今ある特産物をさらに活かす

①自然を活かしたイベント

(ザリガニ釣り大会、雪合戦大会)

②お店が多くにぎやかな町

(魚のつかみ取り、グランピング施設)

③特産物を知ってもらおう

(ユーチューブ)

3つのグループが上記の視点から、アイデアを発表しました。

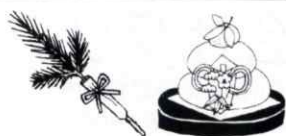


グループ意見交流

小グループに分かれて、8年生の発表内容に、さらに新しいアイデアをかけあわせてプランを膨らませていきました。



次第に打ち解けて、楽しく話が弾みました。



地域元気宣言の
京都北都信用金庫額田支店

TEL 37-0051 FAX 37-1158

より豊かな町にするために 若い世代と語り合いました

夜久野の

12月7日(土) 夜久野学園を会場に、「夜久野のみらいを創る集い」参加者は夜久野学園8年生、福知山公立大学学生と大人(自治会長 夜久野学園8年生が「夜久野がより豊かな町になるためには」といその後、7つのグループに分かれて、中学生の案について意見交換 大学生が積極的に進行などを担い、親しみやすい雰囲気の中で楽し

グループ意見交流 の内容を紹介

各グループで話された内容を、お互いに紹介しました。
他グループのユニークなアイデアに感心しました。



参加者の感想

- ・ 8年生の発表も元気がよくて良かったし、グループ交流も盛り上がり楽しかった。
良いプランができた。(大人)
- ・ 様々な年齢の方々との意見交換で、私の班では特産品を広げる話だけでなく、生産状況や、旬の時期、売り場など、住んでいないと分からない情報を知ることができて、良い経験ができました。(公立大生)
- ・ 学習前は、夜久野は今していることで精一杯だと思っていた。けど、この集いで今住んでいる人々にできることはたくさんあるということを知った。そして自分にできることは何かあるのかを考えられて、よい機会だと思った。今できないこともこれから少しずつ取り組んでいこうと思った。(中学生)
- ・ 僕は最初、夜久野はなくなってもしかたないと思っていた。けど、夜久野をよくしようと動いている人がいることに気がついた。だから、僕も、夜久野をよくしていくために自分のやるべきことを見つけ行動したいです。また、夜久野の良さは自然ぐらいかと思ってしまっていた。でも夜久野には他にもいろいろな良さがあるんだな、と気づけて良かったです。(中学生)
- ・ 中学生の3つのアイデアに共通することだが、体験を通して魅力を知ってもらうことは地域を活性化するために特に重要と思った。観光客向けにはもちろん、地域の子どもたちも体験から夜久野に愛着を持ってもらえれば、夜久野内外に「関係人口」、いわゆる「夜久野ファン」が増えることが期待できると思う。(公立大生)



まちかどフォト



地元の大切な文化財

玄武岩公園 美化作業

～中夜久野地区公民館～

11月10日(日)、小倉玄武岩公園の美化作業を、中夜久野地区公民館の主催で行いました。小倉幸福会のみなさんを始め、子どもから高齢者まで協力して清掃作業をしました。

作業終了後にビンゴゲームを行いました。たこ焼きのお土産までいただき、参加者は皆、楽しい時間を過ごすことができました。



いざという時のためにも大切!

旧明正小学校 美化作業

～下地区自治会長会～

11月24日(日)、恒例の旧明正小学校の美化作業を下地区自治会長12名で行いました。

日頃から近隣の方に草刈りなどをさせていただいてありますが、今年はドクターヘリが運動場を利用されたこともあり、草を刈る手にも力が入りました。

広々と見晴らしの良くなった運動場を前に、心も清々くなりました。



昔から伝わる行事

山ノ神講

奥自治会

「山の神さんのお祭り」と言われ、毎年12月の第1日曜日に開催される行事です。

八幡神社でお詣りした後、境内であらかじめ山で伐採しておいた木を燃やし、火を囲み語ります。

「この火にあたると1年間風邪をひかない」「この日は山の神様が山の木の数を数えるので木を切ってはいけない」「山の神様は女性なので、女性が山に入ると嫉妬する」などの言い伝えがあるそうです。



そば宝 丹波ノ霧
有限会社 やくの農業振興団

福知山市夜久野町高内17番地の5 TEL 0773-37-0002

商工会では、経営に関するさまざまな悩みや相談にお答えしております。

経営のみちかな相談窓口

福知山市商工会 夜久野支所 (TEL 37-0001)

輝く夜久野の子どもたち

夜久野学園

夜久野をとびだして、
学びあい、ふれあい、高めあい

新年明けましておめでとうございます。日頃は、学園の教育活動にご理解とご支援いただき、感謝申し上げます。

春、秋と2回の資源回収では、自治会の皆様には回収・運搬等をお大変お世話になりました。収益に関しては、教育活動充実に向け有効に活用させていただきます。有難うございました。

さて、夜久野学園では、3年生は社会の学習で「消防署」へ、4年生は世界の様々な文化に触れるために「国立民俗学博物館」へ、5年生は環境を考えた給食食器作りの工場見学で大阪へ、6年生は修学旅行で奈良へ、7年生は「篠山市街地」の散策に、8年生は人権学習として岡山県の「ハンセン病の療養所」へ、9年生は修学旅行で長崎へ、など様々な場所でも学習をしています。

これらの郊外での学習を通じて、本物を見て本物に触れてこそ得られる体験、集団で行動する時のルールや、マナーについて、公共の施設や交通機関を利用する時に気をつけることなど、学園や教室だけでは学べないことを学んでいます。



6年 修学旅行(東大寺)



7年 篠山散策



8年 ハンセン病療養所訪問
(岡山県邑久光明園・長島愛育園)



9年 修学旅行(長崎市)



5年 大阪 給食食器工場



4年 国立民俗学博物館



3年 福知山市消防署

夜久野子育て支援センター

世代を超えたつながりを大切に

夜久野子育て支援センターでは、親子交流・仲間づくりの場や学習の場の提供、また子育てについての様々な相談などの子育て支援事業を行っています。

就学前のお子さんとその保護者さんが夜久野をはじめ、市内各地から遊びに来てくださいます。最近では保育園、こども園など乳児期から入園される方が多く、利用されるおさんは0〜2歳までのお友だちがほとんどです。「近所に子どもがいない」「あまり知り合いがいらない」と話される保護者も少なくありません。そういう時こそ、子育て支援センターを利用ください。「支援センターに行けば、同じ子育て中の保護者に出会える」「スタッフや同じ立場の方と話ができる」「など安心して利用してもらえらる場でありたいと思っています。

毎月の行事は、子育てに役立つ講座や親子で遊べる会など参加してくださる方に合わせた内容を考え、年間を通して開催しています。そして夜久野子育て支援センターの特色は「世代間交流」です。地域の皆様のご協力により民生児童委員・主任児童委員様、夜久野学園、夜久野こども園との交流を長年続けています。どの世代との交流も新鮮で、貴重な機会です。いろいろな人との出会いやふれあい子どもたちや子育て中の保護者にとって「人っていいな」とあたたかいぬくもりを感じられる時間となり、どの交流も毎回優しい笑顔であふれています。

「一人じゃないよ。仲間や味方がいるよ。」と子育て真っ最中の頑張っているみなさんに伝わるよう、これからも夜久野の恵まれた環境の中で子育ての応援団として安心できる居場所づくりに努めていきたいと思っています。

民生児童委員様との交流



【開設時間】月曜〜金曜

午前9時30分〜12時 午後1時〜4時

夜久野ふれあいプラザ内 37-1107

※詳しくは毎月発行のおたより

「はじめのいっしょ」をご覧ください。



子育て支援センター内の様子



夜久野学園との交流

和風レストラン

仕出し・宴会
お食事処

はか亭

夜久野町日置47-3
☎37-1144

福知山市夜久野町直見417の1

小田垣製菓舗

TEL・FAX 0773-38-0111

お正月を迎える 準備

地区公民館 わら細工教室

お正月に向けて手作りの「わら細工」を飾れるように、3つの地区公民館で、それぞれ作り方の講習会が開催されました。

上夜久野

12月21日(土)
さわやか館にて



中夜久野

12月7日(土)
中夜久野地区
公民館にて



下夜久野

12月22日(日)
夜久野
ふれあいプラザにて



ジャンボ門松

直見中
営農組合



手作りの大きな門松が作られています。1月には「どんと焼き」が開催され、この門松と各家庭のお飾りや書き初めなどが盛大に焚き上げられます。

ふるさと基金

まづこ銀行

篤志ありがとうございます。

☆令和六年十一月

亡母供養 衣川 聖様(宮垣)

亡父供養 大江 三千男様(吉中)

亡叔供養 小西 眞様(小倉)



夜久野町の人口は 令和6年11月末日現在

☆人口 2,790人 (-115人)
(男) 1,361人 (-42人)
(女) 1,429人 (-73人)
☆世帯数 1,408戸 (-39)
()内は昨年同期からの増減

(市人口統計表による)

編集後記

令和七年の新春号の発行にあたり、日頃皆様のご協力を賜り誠にありがとうございました。

皆様方におかれましては、良いお正月をお迎えになったことと思います。

昨年は気温の高い日が続き、作物の収穫に影響を与えた年であったように思います。これも地球温暖化によるものかと思っています。

自治会だよりでは、各地域に於ける行事等を掲載しておりますが、皆様には知られていない取り組みや、行事がまだまだ沢山あると思います。今後も引き続き皆様に紹介できればと思っています。

皆様からの情報をお待ちしております。

編集委員一同